

2023
特選
日本銀行
総裁賞

第56回「おかねの作文」コンクール

未来につながる価値ある買い物

千葉県・千葉県立東葛飾中学校 1年 又多 嶺

私が、今最も興味をもっていることは「英語」だ。英語のスキルを高めることで、世界のより多くの人と円滑なコミュニケーションがとれるようになるだろうし、そうなることで自分の可能性が広がると思う。将来、言葉のハードルをできるだけ意識せずに、様々なことに挑戦できるようになりたいと強く思っている。

そこで、手始めに英語の検定に挑戦することにした。合格するために様々な準備をする中で、小遣いで自分のレベルに合った、使いやすい参考書を選んで購入した。参考書を購入したことで、不思議と勉強に対するモチベーションが高まり、「合格したい!」という思いも強くなった。検定試験日までの期間、勉強がうまく進まずにやる気が出ないこともあったが、そんな時に参考書が目に入ると「せっかく買った参考書を無駄にしたくない。がんばって勉強しよう。」という思いが湧き、前向きに取り組むことができた。参考書を最大限に活用し、自分の能力を高めて合格を手にすることが、小遣いを無駄にしないことにつながるという思いが芽生えていたように思う。

無事検定に合格できた時は、自分の英語学習の最初の一步を進められた、という喜びや合格できた達成感と共に、「小遣いを使って参考書を購入した甲斐があった。無駄にならなくてよかった。」という安堵感もあった。なんだか手元の参考書が買った時よりも価値あるもののように思えた。参考書を購入し、目標達成に向け努力することで、「合格」という望む結果が得られた経験が自信となり、その後の英語学習に対する意欲も益々高まった。

私は、これまでお金の使い道としてイメージするのは、何か物理的に手に入れたい物を購入することや、「旅行」のように何らかの体験をすること、など、金額に相当する何かを「消費」するための手段であったように思う。しかし、今回、私が参考書を購入したことは、単に参考書という物を手に入れただけでなく、その物を活用し自身の能力を高め、更には検定合格という目標達成に

も貢献し、結果的に多くのことを私にもたらしてくれた。

私はこの経験から、「自己投資」というお金の使い方を体験すると共に、それがとても有益なお金の使い方だったと実感することができた。

お金はその時々で必要な「消費」に使うだけでなく、将来につながる「投資」という使い方もでき、使い方次第で多くの可能性を見いだしてくれるアイテムであることを学んだ。特に「自己投資」は、その後の自分の努力次第で、将来的に得られる成果を高めたり、選択肢の幅を広げることができ、とても有意義で魅力的なお金の使い方だと思う。

今後、自分の意志でお金を使う機会がこれまで以上に多くなってくると思う。多種多様な使い方ができるお金だからこそ、何の考えもなしに安易に使ってしまうことは避け、できるだけ有効に使うことを心がけたい。私はお金を使う際、「将来に向け自分自身をよりよくするための投資として使う」という選択肢を常にもち、できるだけその選択を実行していきたい。そうすることが、より豊かで充実した人生を築くことにつながると思う。

